

パブリックコメント（白子町小学校適正配置等基本方針（案）及び白子町小学校統合基本計画（案）に対する町の考え方

No.	対象	該当ページ	ご意見の概要	町の考え方	種別
1	方針 計画	3	<p>白子町小学校統合については賛成です。</p> <p>白子町小学校適正配置等基本方針(案)の1. 基本的な考え方についても同感で、社会に出ていく子どもたちが集団で切磋琢磨するということは社会性のためにも大切な環境であると考えます。</p> <p>白子町小学校統合基本計画（案）の1. 小学校統合に関する主な取組（2）について、私は小中学校を施設一体型にするのではなく、小中学校一貫の建物にすることが長い目で見たときにいいのではないかと考えます。</p> <p>小学校の統合は、複式学級を懸念して派生したものだとして理解しておりますが、同様に校舎の老朽化も新設する理由と、説明会で話されてきました。中学校も同じように老朽化していることを考えると、小学校だけを中学校の敷地に新設するなら、数年後には新設が必要になる中学校も一緒に新設すること、小中一貫にしてしまうのが賢明だと思います。</p> <p>その場合に必要なプレハブに費用がかかると耳にしましたが、それならば、新設場所を再検討する、もしくは場所は中学校の敷地ということであれば、建設期間中は、現在ある施設、例えば3校ある小学校のうちの1校を中学校に割り当てることも可能なのではないのでしょうか？統合を早め、統合時は現行小学校にてスタート、数年後に新校舎へ小中ともに移動という流れでもいいのでは？現行施設の有効活用と子供たちや先生方への負担を加味すると急いで新校舎を押し切るのではなく、最善な方法が他にもあるかもです。</p>	<p>ご意見として承ります。小学校統合については、長期的なビジョンも視野に入れ、計画策定の参考とさせていただきます。ご意見のとおり、白子中学校も老朽化が進んでいますが、現状は新たな小学校の設置を優先しております。その後は白子中学校においても新校舎の建築また大規模改修など段階的に実施したいと考えています。</p>	基本方針
2	計画	—	<p>子どもたちの未来は、今を生きる私たちの責任です。学校統合は単なる施設の再編ではありません。それは、白子町の未来を形作る、かけがえのない機会だと思います。</p> <p>1. 他のどこにもない独自性を追求した学校</p> <p>若い世代が白子町に「住みたい」「生涯にわたり住み続けていきたい」と思える学校。</p> <p>統合は、町の魅力を高める千載一遭のチャンスでもあります。近隣市町村と同じではなく、白子町にしかない独自の教育環境を創造してほしいです。最新の設備などの追求ではなく、子どもたちの可能性を最大限に引き出す、白子町にしかない学びの空間を目指してほしいです。</p> <p>都市部などからの移住を検討している若い世代が白子町を選びたくなる、他にはなく白子町にしかない独自性のある学校であることが重要だと思います。</p>	<p>小学校統合については、白子町で生まれ育つ未来の子ども達が夢や高い志を抱き、未来を切り拓くために必要な資質や能力を育むことができるような、よりよい教育環境を創出することを目標としています。また、施設形態については、施設一体型（小学校と中学校の校舎の全部又は一部が一体的に設置されている。）を考えております。ご意見を尊重し、今後も小学校の統合を進めてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。</p>	統合に関する取組
3	計画	—	<p>未来を見据えた慎重な計画</p> <p>10年後、30年後、50年後の白子町をどのように描くのか。その明確なビジョンが立つまでは、学校新設を急ぐ必要はないと思います。</p> <p>人口推移を綿密に予測し、複数の未来シナリオを描くことが賢明だと思います。現存の小学校を暫定的に活用しながら、より最適な学校規模や本当に必要な付帯設備などを検討していくことを視野に入れてもよいと思います。</p> <p>学校施設は、単なる建物ではありません。それは数十年にわたり町の未来を支える社会インフラです。町の将来の財政規模に真に見合う、持続可能な規模と設計。それは、次世代に対する私たちの責任だと思います。</p>		統合に関する取組
4	計画	—	<p>主役はあくまでも、未来の子どもたち</p> <p>この計画において最も大切なのは、この決定が将来の子どもたちにとって最善の選択であることです。私たち、現在の大人たちの利便性や希望が優先されてはいけません。この統合の主語は常に「未来の子どもたち」であるべきです。彼らが夢や希望を持って学び、成長できる学校をつくるのが、私たち大人の責務です。</p> <p>結びに</p> <p>これから決定していくことが未来を担う子どもたちへの大切な贈り物となりますよう。</p> <p>稚拙な意見ではありますが、子どもたちの笑顔が輝く学び舎となることを願い、慎重かつ大胆な検討をお願いいたします。</p>		統合に関する取組

No.	対象	該当ページ	ご意見の概要	町の考え方	種別
5	計画	—	<p>小中一体型校舎の可能性</p> <p>中学校の校舎老朽化(小学校よりも築年数が古い)という課題も、新たな教育の形を模索するチャンスでもあります。</p> <p>一案ですが、小中一体型の校舎とすると、中学校敷地内での小学校校舎新設以上の意味と可能性を持ちえます。より充実した異学年交流、施設維持管理コストの最適化など、多角的なメリットが期待できます。子どもたちの学びの連続性と、効率的な教育環境の両立を目指す、未来志向のアプローチであると思います。</p>		施設整備
6	計画	2, 4, 13	<p>小学校統合基本計画</p> <p>2 ページ 計画期間</p> <p>4 ページ 令和6年度・令和10年度 児童数一覧</p> <p>13 ページ 統合スケジュール</p> <p>昨年度の小学校統合に関する説明会において、複式学級になる可能性が迫っていたような記憶があります。しかし今回の児童数の推移は、令和10年度4月の完成を急がなくても良いような状況ではないでしょうか。小中一貫校の構想があるのなら、一緒に検討していくと良いと思います。</p> <p>学校を建ててからでは、遅いのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見として賜ります。基本計画(案)に示した統合時期(令和10年4月)については、同様のご意見を多くいただいており、小学校統合の時期については再度協議検討してまいります。</p>	統合に関する取組
7	その他	—	<p>校舎の建て替えに目が向いてしまっていますが、これを機に教育内容についても"特色ある学校づくり"を考えてみてもいいのかもしれない。というのも、先日読んだ記事で興味深い教育を行っている公立小学校のことを読んだからです。</p> <p>1校目はイマージョン教育を実践している愛知県豊橋市立八町小学校です。こちらはバイリンガル教育を取り入れています。</p> <p>2校目は、長野県にある伊那小学校です。こちらは総合教育を積極的に取り入れ学校でヤギを飼い、育てています。そしてチャイムや通知表、時間割がなく体験を大事にしている公立の小学校です。</p> <p>このような特色のある教育は、白子町でも実際に感じております。玉ねぎや落花生収穫や田植え体験、ウナギ稚魚の放流、ウミガメのことや白子神社を学ぶ総合学習…これらを学校教育に取り入れていることは本当に素晴らしいと感じています。他県にいたときには経験する機会がなかったことです。このような現在進行形の教育プラス、小中が同じ敷地で学ぶ(小中一貫が良いと思っていますが)、新校舎ができるというこの滅多にない機会に、それに付随して特色ある教育を進めることで、何か【新校舎】【統合】だけではない魅力も生まれるのかなと思います、さらに外へ向けて、教育を求めて移住を考える人も出てくると思うので、今回の統合案というのは、うまく使えば町にとっても1つの大きな変革の機会になるのではないのでしょうか?もちろん、簡単なことではないですが、きっと何かいい方向に向かうように思います!</p>	<p>ご意見として承ります。白子町では「郷土への愛着と誇りを持ち白子町の将来を担う人材の育成」を教育目標の1つとしており、ふるさと教育を実践しております。今後も子どもたちの資質・能力の育成につながる体験活動などの取り組みを充実させることにより、ふるさと教育の一層の推進を図ってまいります。</p>	統合に関する取組
8	計画	4	<p>「2学校規模の適正化(2)」アンケートの結果</p> <p>指摘内容:積極的賛成と消極的賛成をまとめて全体の60%が賛成しているような表現は削除し、結果の内訳を円グラフ等ですべて記載するのみにすべき。</p> <p>理由:保護者アンケート結果の内訳は、積極的賛成が1割、消極的賛成が5割、反対が3割であり、全体の多数は消極的賛成と反対である。「他に手段がないのであれば統廃合はやむを得ない」がこのアンケート結果から読み取れる、保護者の多数の意思であり、統廃合を望んでいない(できるだけ統廃合は避けたい)割合が8割とも解釈できる。複数の解釈を伴うものについて、60%が賛成という一面だけを記載するのは不適切である。</p> <p>補足意見)このアンケート結果を基に、保護者の6割が統廃合に賛成しているかのような言葉や表現が町作成の文章等で散見されるが、前述のとおり「統廃合を望んでいない」という意思が多数であることを覆い隠すようなまとめ方をするのであれば、アンケートの設問自体、最終的に賛成多数という結論を導くためのものであったとの疑いを招きかねない。そういう意味でも、このアンケート結果についてはもっと慎重に扱うべきである。</p>	<p>ご意見として賜ります。記載内容については、再度協議検討いたします。</p>	学校規模の適正化

No.	対象	該当ページ	ご意見の概要	町の考え方	種別
9	計画	4	<p>「2学校規模の適正化(2)」保護者意見 指摘内容:保護者アンケートから寄せられた意見(主なもの)として、統廃合のメリットのみ記載するのは不適切であり、当該箇所は削除すべき。 理由:実際のアンケート結果を見ると賛否両論の意見があり、多種多様な意見から一部を代表として抽出する場合、選択方法に高い客観性が求められる。客観的に抽出されていることを証明するのは困難であるから、方針案に主な意見を掲載するのは適当でないと考える。統廃合のメリットだけを「主なもの」と称するのは明らかに誤りであり、保護者が統廃合に積極的であると感ぜさせる印象操作と捉えられてもおかしくない。</p>		学校規模の適正化
10	計画	3	<p>「4小学校統合に関する主な取組(1)」 指摘内容③-1:最終答申および基本方針において、本来の目的は「複式学級の回避」である。ところが、基本計画で突如に小規模校(6~11学級)のデメリットが謳われ、目的が「小規模校の解消」に変わっている(「複式学級≠小規模校」)。 本来の目的である「複式学級の回避」を達成するための基本計画であるはずで、最終答申および基本方針では出てこない小規模校の回避という新たな概念(P3 11-13行目、16行以降)が計画に入るのをおかしいため、この箇所は削除すべきである。</p>	小規模校のデメリットについては、基本方針(案)・2学校規模の適正化・(1)基本的な考え方に記載しております。	学校規模の適正化
11	計画	3	<p>本来の目的である「複式学級の回避」を達成する手段として、小学校統合はその一つに過ぎない。最終答申の、「複式学級を回避するために統合」という結論と、①で指摘している保護者の「できるだけ統廃合は避けたい」という多数の意思を尊重するならば、まず取るべきは統合以外で複式学級を回避する手段を模索・検討することではないか。まだ検討していないなら計画立案の時点で検討すべきで、既に検討しているのであれば、その検討案と統合案で比較評価した結果、統合案が採用された理由の記載を求め。</p>	小学校の統合の目的は複式学級の回避もありますが、老朽化の進んだ小学校施設を新たに建て替えることで、よりよい教育環境を創ることも目的としています。ご理解とご協力をお願いいたします。	学校規模の適正化
12	計画	3	<p>③-1で仮に目的を「小規模校の解消」に変更するのであれば、最終答申にも出てこない新たな概念(P311-13行目、16行以降)を持ち込むことになるので、最終答申の付帯意見にもある通り、まずは保護者や地域住民の判断を確認するプロセスを取るべきと考える。 理由1:新たな概念に照らすと令和10年度の児童数(1学級10人+α)の状態そのものが小規模校であり望ましくないという解釈になるが、最終答申では小規模校の是非について結論付けていない(最終答申は、少人数は複式学級になる可能性が高まるため統合で回避するという論理であり、少人数と大人数の学級の優劣比較はしていない)。 理由2:各地区に小規模校として残るのか、それとも文科省手引きにある通常規模校(最大1学級35人、1学年2学級以上)にするため各地区から学校が失われるのか、どちらが望ましいかという問いは、保護者と地域住民に対してまだ提示されていない。</p>	小学校については、6学級(クラス替えができない規模)である学校規模である場合は、児童数の状況、更なる小規模化の可能性、将来的に複式学級になる可能性も勘案し、学校統合等を速やかに検討する必要があると文部科学省から示されております。白子町でも同様の考えであり、引き続き、白子町でも小学校の統合を検討してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。	学校規模の適正化
13	計画	4	<p>「令和10年度児童数一覧(推定)」 提案:統合時期については、最新児童数データを示した上で、保護者や地域住民の意見をアンケート等で確認し、決めるのはどうか。 理由1:基本計画案では令和10年に複式学級の危惧があるとの認識で統合時期を令和10年としているが、令和10年度児童数一覧(推定)で一番人数が少ないところでも、2学年10人と9人であり、これをもって直ちに複式学級が危惧されると見なすのは違和感を覚える。 理由2:最新の児童数一覧(推定)で児童数が急激に減少(3小学校すべてで複式学級が発生)する等の傾向が見られないのであれば、令和10年統合ありきではなく、①で指摘しているアンケート解釈「できるだけ統廃合は避けたい」の保護者の多数の意思を尊重して、統合時期を決めるのがよいと考える(最終答申の付帯意見でも、保護者や地域住民の意見を尊重することある)。</p>	ご意見として賜ります。基本計画(案)に示した統合時期(令和10年4月)については、同様のご意見を多くいただいており、小学校統合の時期については再度協議検討してまいります。	学校規模の適正化

No.	対象	該当ページ	ご意見の概要	町の考え方	種別
14	計画	11	指摘内容:P11趣旨で、目標は子ども達にとってより良い教育環境にするため、とあるが、統廃合により1学級の生徒数が30人を超える状態が、現状より良い教育環境である、と言える根拠が不明であるので、詳細な根拠の記載を求む。 令和10年度児童数一覧(推定)を基に考えると、1学級10人だった学年で、統合によって1学級30人以上の規模になる。現在の公教育で挙げられる各種問題(不登校、いじめ、学級崩壊など)の要因は、受け持つ生徒数が先生の能力でカバーできる数を超えていることにある。現状より先生の目が行き届かなくなり、教育環境の質の低下が容易に想像できる(このような問題を抱える他学校の保護者の視点に立つと、生徒数が少ないというのは望んでも実現できない、大変恵まれた教育環境とも言えるのではないか)。	ご意見のとおり、小規模校には個別指導が行いやすい等の利点も考えられますが、基本的な考えとして、小学校では集団の中で思考力や表現力、判断力、問題解決力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせることが重要と考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。	学校規模の適正化
15	計画	14	14ページ6 施設設備(1)基本的な考え方③に校舎構造は鉄筋コンクリート造を基本とし・・・とあるが、可能な限り地元産木材を使用した造りで検討して欲しい。 近年公共施設・ビル等でも木造構造が見直されており耐震・耐火性においても優れてきていると思いますので。また、コンクリート剥き出しの施設よりやはり木の温もりを感じさせた方が子供たちにとっても良い事だと思います。 近年、木更津の公立小学校で改築にあたり木造平屋造りの校舎を拝見しましたが落ち着く感じでとても良いと感じました。	基本計画(案)において校舎構造は鉄筋コンクリート造を基本としていますが、ご意見のとおり、児童が日常的に手を触れる部分は木質化するなど木材の利用について積極的に検討してまいります。	施設整備
16	計画	15	児童数の推移を見ると令和11年度以降も少子化が続くのであれば、新校舎はフル装備の必要性があるのか?とも考えてしまいます。しかし将来的に白子町を魅力的な住みよい町にしていく一つの中に、子ども達が安心、安全な教育を受けられる環境づくりをしなければならぬとも思いました	ご意見として賜ります。保護者・地域の皆さまのご意見を尊重し、今後も小学校の統合を進めてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。	施設整備
17	計画	6	中学校校舎が老朽化してきているなかで、近い将来、中学校校舎の建て替えも必要になります。その時に、支障がないよう小学校校舎の配置を検討していただきたい。	ご意見として賜ります。今後中学校の立て替え・改修など充分考慮した配置となるよう努めてまいります。	施設整備
18	計画	13	新校舎設計案が作成され、敷地内配置等のイメージが具体化されたタイミングで、説明会や意見交換できる機会を設けていただけるのか。その具体的イメージをもって、全員合意は得られなくても、建設的な意見交換がされることを望みます。	敷地内配置等のイメージは、設計業務後に地域の皆さまにお示ししたいと考えています。説明会等の開催については、ご意見として賜ります。	施設整備
19	計画	14	「スペースがない、予算が足りない」とカットするのはこれからの未来がある子供たちのためになるとは思いません。他の学校も中学校と共用だからという考えではなく、白子町の児童のため、より良くしようという考え方に変わってほしいです。	ご意見として賜ります。よりよい教育環境を子ども達に提供できるよう努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。	施設整備
20	計画	14	14ページ6施設設備(2)主な想定設備>特別教室の欄に家庭科室(調理室)の記載が無い。	家庭科は小学高学年からの授業となるため、家庭科室は中学校施設の共用を考えています。支障がある場合は、椅子の高さを変えなど、体格差に配慮した形で対応したいと考えています。	施設整備(教室等)
21	計画	14	特別支援教室利用の児童生徒が、調理実習をすることがあります。小学校低学年には中学校の家庭科室の机は高いので、児童が使用できる家庭科室を要望する	ご意見のとおりです。	施設整備(教室等)
22	計画	14	付随設備等に教室冷暖房とあるがこれは普通教室、特別教室、管理諸室に設置すると考えて良いのか。	ご意見として賜ります。上階からの転落・落下物など、児童の安全面に配慮しながら必要に応じ協議検討してまいります。	施設整備(その他)
23	計画	14	教室について、全ての教室でベランダの設置があるのか? 長南小学校では3階建てにもかかわらず2階以上でもベランダが無く、小1生が自分で育てている朝顔を自分で階段を上り教室まで持っていっている。 この様な事が無いように設計していただきたい。防災面でもベランダが無いのはどうでしょうか?	ご意見として賜ります。少人数教室や空き教室、余裕教室等の有効活用を図ってまいります。	施設整備(教室等)
24	計画	14	ことばの教室へ通級する児童がいます。各小学校では、ことばの教室担当職員がいます。個別の教室が必要であります。	ご意見として賜ります。少人数教室や空き教室、余裕教室等の有効活用を図ってまいります。	施設整備(教室等)
25	計画	14	スクールカウンセラー等が使用する面談室 児童生徒の家庭状況は複雑化しています。静かに落ち着いた部屋での対応が望まれます。スクールカウンセラーだけでなく、保護者対応・児童職員・その他引き継ぎなど、多く利用できます。	ご意見として賜ります。少人数教室や空き教室、余裕教室等の有効活用を図ってまいります。	施設整備(教室等)
26	計画	14	相談室やサポートルーム 不登校や教室に入れないなど、多様な児童生徒が増えつつあります。他の児童と会わずに入室できる教室があると、児童生徒が安心して登校できます。いつも同じ職員が対応するとさらに良いと思われれます	ご意見として賜ります。今後の設計業務にて協議検討してまいります。	施設整備(教室等)
27	計画	14	11月24日の説明会において、PC教室はなくてよいと話がありました。体育館は共用のため、小学校だけが集会できるスペースとして多目的ホールがあるとよい。	ご意見として賜ります。今後の設計業務にて協議検討してまいります。	施設整備(教室等)

No.	対象	該当ページ	ご意見の概要	町の考え方	種別
28	計画	14	普通教室、特別教室、少人数教室の数は、計画の中で決まっているのであれば、数（数字）を書いてほしかった。	具体的な教室数等は決定しておりません。小学校統合準備委員会（仮）設置後に専門部会にて協議検討してまいります。	施設整備（教室等）
29	計画	14	PC教室の利用がないことを知っているが、説明されなかった。	具体的な説明が不足し申し訳ございませんでした。よりよい教育環境を子ども達に提供できるよう努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。	施設整備（教室等）
30	計画	14	特別教室に家庭科室がなかった。中学校と共用で使用することになっていたようだが、その説明もされなかった。		施設整備（教室等）
31	計画	14	運動施設について ・休み時間や放課後のグラウンド・体育館の使用において、小学生と中学生の境界線や時間配分等を行うのか。球技等をする上での安全性配慮はされるのか。 ・部活動の方向性。場所や設備が限られることで、活動枠やレベルがどうなるのか。そもそも部活動の種類、選択数はどのような想定か。 （自身が通学していた時代に比べて現時点でどれほど縮小しているのかも把握していないため、小中学校の現状と統合後の予定もあわせて情報いただけると助かります。 スポーツを習わせたい時に民間クラブを検討しなくてはいけないのかの材料として。）	施設の共同利用については、時間割の工夫、施設の使用調整、部活動の調整、チャイムの設定方法等の運営面・安全面合わせて、小学校統合準備委員会（仮）設置後に専門部会にて協議検討していくことになります。	施設整備（その他）
32	計画	14	主な想定設備がありましたが、これだけの設備が今の中学校の敷地内におさまるのでしょうか？体育館、室内プール、武道場等々、中学校の施設はまだ新しい設備だと思います。校庭も整備されている状況の中で新校舎を建設出来るのか？疑問です。	ご意見として賜ります。敷地内の有効活用等、充分考慮し今後の設計業務にて協議検討してまいります。	施設整備（その他）
33	計画	14	グラウンドが共有となっていますが、小学生の特に低学年と中学生だと体格が違うので接触などであると危ないのではと思います。区画を分けるか、別の場所に新しく作るかしてほしいです。中学生に注意してもらってもまだ子供なので小学生に対して中学生に配慮を強いるのは好ましくないと思います。	ご意見として賜ります。施設の共同利用については、時間割の工夫、施設の使用調整、部活動の調整、チャイムの設定方法等の運営面・安全面合わせて、小学校統合準備委員会（仮）設置後に専門部会にて協議検討していくこととなります。	施設整備（その他）
34	計画	14	運動施設：体育館、プールには小学生低学年に対応したトイレを設置していただきたい。グラウンドは、現状の面積を確保していただきたい。	ご意見として賜ります。中学校と共用して使用する設備については、小学生の体格差を配慮した設備となるよう検討して参ります。グラウンドについても可能な限り面積を広く確保できるよう設計業務にて協議検討してまいります。	施設整備（その他）
35	計画	7	7ページに白子中学校敷地は浸水区域では無いとありますが、ハザードマップを見るとその周辺は浸水区域の色付けとなっております。これでは災害発生時、児童生徒の引き渡しをする際保護者が学校にたどり着く事が出来ず、水が引くまで学校内に留まる事になると思うがいかがか。	学校では、大雨・洪水の各警報が発表された場合、また発表が予想される場合においては、休業措置・保護者への引き渡しによる下校を行うなど洪水災害が起こる前に状況に即した対応を実施しますが、実際に保護者に引き渡しができない児童生徒等については、安全が確保されるまで教員の付き添いのもと、学校内（2階以上）に待機していただきます。	防災
36	計画	7	「白子中学校敷地は浸水区域ではありません。」の表記について、町が発行したハザードマップによると、グラウンド・プール棟周辺は浸水区域となっているので、表記を修正したほうがよい。	ご意見を踏まえ、記載の修正を図ります。	防災
37	計画	14	防災上の安全確保として垂直避難の話がありました。主な想定設備についての中に項目がありません。基本計画に屋上に避難するとなっているので、主な想定設備の中に入れるべきではないでしょうか。	新小学校の屋上は津波災害時の緊急避難場所としての活用を考えているため、ご意見のとおり付随設備等の中に「屋上」を追加するよう記載の見直しを図ります。	防災
38	計画	14	防災上の安全確保では、垂直避難という説明があったにもかかわらず、主な想定施設設備の中に記載がなかった。		防災
39	計画	9	9ページ小学校統合準備委員会(仮)>PTA・地域部会の表中に(学童クラブ)等とあるが小学校新校舎内に学童保育専用の昇降口/部屋/トイレ等学童保育の施設基準に準じた設備等の設置の予定はあるのか。	学童保育の運営場所・施設については、国が示すガイドライン・基準に準じた施設となるよう、関係各課と協議検討してまいります。	学童
40	計画	14	学童保育：台風や大雨などの災害に伴う休校措置が時々ありますが、共働き等により子どもを迎えに行けない保護者も多くいます。その際に学童保育で子どもを預かっていただくことで非常に助かっております。敷地内に学童保育室の設置を要望します。	ご意見として賜ります。小学校統合後は学童保育施設も同敷地へ移行できるよう検討してまいります。	学童

No.	対象	該当ページ	ご意見の概要	町の考え方	種別
41	その他	-	・学童の設置案 ・支援級など学力の遅れがある児童への対応方針 ※町の将来を見据え、統合計画について全体的に賛同しております。 11月の町民向け説明会でも、ご丁寧に説明いただきありがとうございました。	ご意見として賜ります。小学校統合後は学童保育施設も同敷地へ移行できるよう検討してまいります。また、特別支援教育については、特別支援教育支援員を配置し、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行ってまいります。	学童
42	計画	10	10ページの(6)児童の通学距離に応じてスクールバス等を運行し・・・とあるが、現状でスクールバスは何台保持し何コース走らせる予定でいるのか伺いたい。	スクールバスの具体的な運用方法（必要台数・経路・停留所等）については、小学校統合準備委員会（仮）設置後に専門部会にて協議検討してまいります。	スクールバス・駐車場
43	計画	14	スクールバス発着所とあるがバスは学校敷地内に常時留め置きせず、登下校その他必要な時に敷地内に留めるという事で良いか。	スクールバスの発着所は、児童の送迎の際に乗降する場所を示していましたが、誤解のないよう「スクールバス乗降場」と記載の見直しを図ります。	スクールバス・駐車場
44	計画	14	駐車場について、小学校職員だけでも最低20台の駐車スペースと来客用(最低でも3台分)の他に保護者用(?)の駐車スペース及びバス発着場(同時3台)ロータリー等のスペースの確保が出来るのか？	ご意見のとおり、駐車場・スクールバスのロータリーの確保は不可欠と考えています。今後、設計業務にて駐車場を多く確保できるよう、専門的な見地から協議検討してまいります。	スクールバス・駐車場
45	その他	14	保護者の送迎の車を、中学校敷地内を通す案がありました。 私が保護者であれば、学校の中を保護者の車と児童生徒が交差することは危険が伴います。児童生徒の安全なくして、学校といえるのか伺いたいです。	ご意見として賜ります。児童生徒等の校内における安全の確保に充分努め、協議検討してまいります。	スクールバス・駐車場
46	計画	14	駐車場・スクールバス発着所：南側の門については、車両の出入りが対面通行となっている。スムーズなすれ違いができないため、周辺道路の渋滞原因となっている。入口と出口を分け一方通行のようにすればスムーズになるのではないかと思います。また、駐車場・スクールバス発着所もラインで駐車場所や導線を明示し、スクールバスの導線と重ならないように整備していただきたい。	ご意見として賜ります。スクールバスや車での送迎・駐車場など、周辺道路交通に配慮し検討してまいります。	スクールバス・駐車場
47	計画	14	周辺道路：中学校周辺道路は、町道だけでなく県道片貝一宮線との交差点があり、小学校を統合することで通学時間帯に周辺道路に渋滞が発生する可能性があります。町では周辺にスーパーを誘致したいとのこと伺っております。事業を進めるうえで、道路管理者（県・町）だけでなく警察にも事前に相談することが必要ではないかと思えます。	ご意見として賜ります。関係機関とも充分調整し検討してまいります。	スクールバス・駐車場
48	その他	-	小学校統合については周知していますが、中学校と一貫校として動いていることを初めて知りました。いろいろと御検討された結論なのだと思います。 また、このパブリックコメントのことも初耳でした。しかしパブリックコメントでは実際多くの方が意見を話せないのではないかと思います。ホームページをひらいて、さらにアクセスしなければパブリックコメントにたどり着かないし、住民説明会に参加できず意見を言えなかった人にも様々な意見を聞くのであれば、町のあらゆる場所に意見書の用紙を配置して欲しいと思いました。（意見書を入れる箱も）	ご意見として賜ります。小学校統合に関する決定事項や進捗状況等、今後は広く周知できるよう努めてまいります。	パブリックコメント
49	その他	-	説明会に出席できなかったので当日の説明内容やどのような意見があったのか知りたく、また素朴な疑問や意見をこの意見書に記入しようと思いましたが、白子町のホームページをPCでみるとトップページに小学校適正配置等検討委員会のバーナーがあり質疑回答一覧表を確認できました。スマホで見ていたので表示されずわからなかったです。せっかく記録や検討委員会便りを公表しているので、多くの方が簡単に目に触れる周知方法をお願いしたいです。特に若い世代の方は「統合する」ということは噂等で知っているようですが、検討委員会の存在や立地場所等も含め内容は知らない方が多いです。内容や経緯等を確認してもらいある程度の理解を得た方が、よりよい学校の完成に繋がると思えます。契約期限等の事情なのかわかりませんが、決定を急いでいるように感じます。	ご意見として賜ります。小学校統合に関する決定事項や進捗状況等、今後は広く周知できるよう努めてまいります。また、白子町では少子化の進展から更なる小学校の小規模化の可能性、将来的に複式学級が発生する可能性も勘案し、小学校統合により適正規模に近づけることは喫緊の課題であると認識しています。	パブリックコメント

No.	対象	該当ページ	ご意見の概要	町の考え方	種別
50	その他	-	今回の白子町小学校適正配置等基本方針に目を通したり、意見交換会や説明会に出席させて頂きましたが、まだまだ話し合いや周知が不足しており、決定するには時期尚早と考えます。もう少し時間をかけて話し合いや説明会をお願いしたいです。 また、パブリックコメントは無記名でも意見出来るようにお願いしたいです。国のパブリックコメントは連絡先を記入しますが、記名しなくてよかったです。	少子化の進展から更なる小学校の小規模化の可能性、将来的に複式学級が発生する可能性も勘案し、小学校統合により適正規模に近づけることは喫緊の課題であると認識しています。また、パブリックコメントで意見を提出いただく場合は、住所と氏名などの記載が必要です。方針・計画の策定に参加していただいているという観点から、責任ある立場で意見を提出していただく必要がありますのでご理解のほどお願いいたします。	パブリックコメント
51	その他	-	白子中の敷地に新しい小学校を建設することは難しいと思います。 校庭・体育館の共有は不便なこと 小中で時程が異なること 雨の日の送迎による交通渋滞のこと 学童保育を設けた際の教室・遊ぶための校庭の確保のこと 小中一貫校にするなら校長先生は一人、職員室は一つが良いと思います。 以上のことから小学校は別の敷地に建設してほしいです。例えばサッカー場の所また関小学校を使用するなど。	ご意見として賜ります。町が目指している小中一貫教育は『併設型小・中学校』を検討しております。ご指摘の内容も充分考慮し検討を進めてまいりますのでご理解とご協力をお願いいたします。	その他
52	計画	4	指摘内容:最終答申を受けて基本方針と基本計画を策定するという流れであるのに、検討委員会が2年前(令和4年)に検討開始した時点の数値を使用して基本計画を策定しているのは誤りである。 基本計画立案で現時点の最新の数値を使用しないのでは、計画の内容が現状に即したもにならないはずである。最新データ(令和12年度の児童数一覧まで)を記載し、この最新データと最終答申に基づいて具体化した基本計画を策定すべきである(最新データの記載がないと、最終答申が出る前に基本計画ができていたのではないかと疑いを招きかねない)	ご意見として賜ります。基本計画の資料「1 児童数の推移」中、令和7年度以降の見込数の表記については再度協議検討いたします。	その他
53	計画	-	基本計画の全般 アンケートの設問の設定や結果の解釈(①指摘)、計画策定の重要根拠である児童数が検討開始時点のままであること(⑥指摘)、基本方針から基本計画段階での目的が変わる(③指摘)などからも感じられることだが、全般的に、「統合」という考えが最初に提起され、その後は統合という結論にしたがって諸手続きを進めているという印象を受ける(手段であるはずの『統合』が目的化している印象)。 全国的に少子化が進む中、最終的には統合を回避することは困難であることは確かである。しかし、繰り返しになるが、最終答申では複式の回避のため統合という結論であることと、保護者は統合に消極的賛成であることから、まずは少しでも長く各地区に学校を残すための、複式を回避する方策が議論されるべきと考える。 子育て世帯の立場において、近くに小学校が存在することは重要であり、なくなることで過疎化を早める側面もあると考えられる。統合ではなく地域に学校を残す努力は他地域でもされており、県内でも小規模特認校制度、小中一貫校、県外では小規模であることを魅力的な教育環境と捉え、都市部からの移住者を呼び込んでいる学校(静岡県、長野県)など、統合以外の選択を模索している地域がある中、そのような方向性の議論の形跡が見られないのを大変残念に思う。なお、そのような制度を採用しても生徒数の減少に抗えず、統合せざるを得ない地域も出てきている中、まだ白子町は各地区に学校を残せる状況であるため、最終的に魅力ある統合にするため、下記を提案するので、ご検討をお願いします。 提案1:複式になることが確実に年次までは現在の学校を維持する。転校等で複式の可能性が高まった場合は、臨時に複式解消教員を雇用する等に対応する。 提案2 :少人数であることをポジティブに捉え、学校間での連携行事を増やす。これにより、小規模校のデメリット(性別の偏りや人間関係の固定化など)の解消も図る。たとえば、各学校で行っている運動会を合同で実施し、学校対抗や学年混合の種目があれば、競争心や団結心を学ぶ機会ともなる。遠足等の行事で顔なじみになれば、中学校で同窓になること地ならしとしてよい機会ともなる。また、地域も巻き込んだものにできるのであれば、教育環境を含めた魅力的な地域になるのではないかと考える。 要望:提案1や2を実行しつつ、最終的な統合(小中一貫含む)を見据え、十分な時間をかけて、ソフト面(今後策定される予定の小中一貫教育基本計画)だけでなくハード面でも素晴らしいと思える小中一体型校舎の検討を進める。その際、これまでの校舎の形式に捉われず、たとえばできる限り壁のない開放的な作り(例:南房総市)や、地域の特色を活かした郷土愛が感じられる作り(例:大多喜町)のような、魅力ある白子町ならではの校舎になることを期待する。	小学校については、6学級(クラス替えができない規模)である学校規模である場合は、児童数の状況、更なる小規模化の可能性、将来的に複式学級になる可能性も勘案し、学校統合等を速やかに検討する必要があると文部科学省から示されております。ご意見のとおり、学校統合をしないという選択もありますが、そういったケースは離島や山間部、豪雪地帯などその他統合を検討することが困難な場合とされています。引き続き、白子町でも小学校の統合に向け協議を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほどお願いいたします。	その他
54	その他	-	過疎化による小中学校の統合は避けられないと認識しています。 県内には先行して統合に踏み切った学校がいくつかあります。開校して7~10年経過しているそれらの学校が直面し、乗り越えてきたハード面、ソフト面に学び、よりよい学校にしていっていただきたいと思えます。 公立で統合した学校(成田市立下総みどり小学校、鴨川市長狭学園、市原市加茂学園など) 小学校に家庭科室がないのは何故か、グラウンドの使い方などいろいろ細かな意見はありますが詳細は委員の方々にお任せするしかないと考えます。	ご意見として承ります。今後、多くの取り決め事項を決定していかなければなりません。行政が一方的に推し進めるのではなく、皆さまからの意見を十分に尊重し、また先進校などの事例を参考にしながら慎重に決定していくよう努めてまいります。	その他

No.	対象	該当ページ	ご意見の概要	町の考え方	種別
55	その他	—	以上の点を考えると、信頼ということばから遠ざかると思われます。はじめからわかっているのであれば、記載・説明があつて当然と考えます。 「記載しなかった」「説明されなかった」件について以上のように小学校での授業形態や通常学級以外の設備等について、「白子町小学校適正配置等検討委員会」（令和4年5月設置）の中に、小学校について詳しい方の参加はなかったのでしょうか。 本当に小学校のこと、児童生徒のこと考えていますか？不信感が募ります。	具体的な説明が不足し申し訳ございませんでした。よりよい教育環境を子ども達に提供できるよう努めて参ります。ご理解とご協力をお願いいたします。	その他
56	その他	—	質疑応答の際、時間で区切ろうとしたのは、どのような理由があつたのでしょうか。パブリックコメントを求める割には、「質問者はあと一人」としたのは何故でしょうか。活字を読むのと、生の声を聴くのでは、違うと思います。そのための説明会ではなかったのでしょうか。	地域説明会時は、至らぬ点が多くご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。保護者・地域の皆さまのご意見を尊重し、今後も小学校の統合を進めて参ります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。	その他
57	その他	—	説明会は4回ありました。 その中であつた意見に対しての回答も、パブリックコメントの回答の際に一緒に、もちろん公表しますよね。		その他
58	その他	—	私は、結婚して白子の住民になりました。小学校建設が、人口減少や町の発展とは関係ないという考えがあるかもしれませんが、私はそう思いません。他県では「この小学校に子供を入学させたい」と、移住してくる方がいることは事実です。現住民が、「この町に住み続けたいと思える街作り」こそが、移住者が増えることにもつながっていくと考えます。 次を担う若者が「白子に住みたいと思える。安心して子育てができる。」そんな、未来を考えられる白子町になってほしいと願っています。現状では、今後が心配です。		その他
59	その他	—	中学校の改築を含む整備はいつになるのでしょうか？白子中も校舎は既に60年を超過しております。また、九十九里町で行っている小中学校の同時整備は白子町では考えにないのでしょうか？小学校の統合イコール小学校校舎新築では無いと考えます。 石井町長筆頭に統合を焦り過ぎていませんか？本来の教育環境の向上とは違う目的で動いていませんか？ 長南小にしても本納小にしても失敗作との話を聞いております。 また、豊岡小についてもどう本納小に統合はせず単独でしばらく進む様にも聞いております。ここきて白子町も他と同様に失敗をするのでしょうか？ 教育委員及び教育委員会職員の方々は長南小などの学校を見学し良く考えた上で白子町小学校統合を考えているのでしょうか？かなりの疑問があります。 ここで一旦立ち止まり再度時間をかけて中学校校舎の改築等を含めて小中一体的な整備を望みます。	ご意見のとおり、白子中学校も老朽化が進んでいますが、現状は新たな小学校の設置を優先しております。その後は白子中学校においても新校舎の建築また大規模改修など段階的に実施したいと考えています。いただいたご意見も今後の参考とさせていただきます。	その他